

協 会 記 事

平成23年4月26日(火)、旭川グランドホテルにおいて、第47回通常総会を開催し、平成22年度事業報告・決算報告および監査報告、平成23年度事業計画・予算等について審議し、いずれも可決承認されました。それらの概要を報告します。

平成22年度事業報告および決算報告

1 平成22年度事業報告

1 会員の動向

年度当初189名であった会員数は、年度末180名となり、9名の会員減となりました。

2 諸会議の開催

平成22年4月27日、第1回理事会および第46回通常総会、平成23年2月14日、第2回理事会を開催しました。

3 出版事業

機関誌「ウッディエイジ（木材の研究と普及）」を680号から691号まで月刊で発行しました。

4 講演会、講習会等の開催

平成22年4月27日の総会時において、（国際ニウブ研究所主宰・北海道大学名誉教授寺沢実氏による特別講演「森林セラピーと地域興し」）を開催しました。また、(社)日本木材加工協会北海道支部と共催で「木材乾燥講習会」、道総研林産試験場と共催で「木材乾燥講習会」を実施しました。そのほか、「2011木製サッシフォーラム」（主催：道総研林産試験場、北海道木製窓協会）、道産家2X4推進会議設立記念講演会への後援を行いました。

5 受託事業

(1) 道総研林産試験場より「きのこ栽培試験管理業務」を受託しました。

(2) 道総研林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」を受託しました。

6 普及事業

(1) 木材関連産業活性化事業

1) 地場産材の有効利用を図ることを目的とした「上川地域水平連携協議会」の中で、事務局として活動しました。

2) テクニカルノート「木材乾燥 改訂新版」を平成22年9月25日に発行しました。

3) 道民向けに平成22年10月29日「木を科学する林産試験場と木材関連工場見学ツアー」を開催しました。

4) 平成22年7月29日、8月5日の2回、子供向けに木工広場を開催しました。

(2) 木製品普及事業

一般市民、学校等に対し、簡易な木工材料や木製品を提供しました。

(3) 「木のグランドフェア」事業

平成22年7月24日から10月15日までの間、道総研林産試験場と共催で「木のグランドフェア」を開催しました。期間中の入場者等は約6,000名でした。主な内容は次のとおりです。

①木になるフェスティバル～オープニングイベント～

オープン初日の7月24日(土)に、「木の科学実験」、「木工工作体験」、「上川総合振興局コーナー」、「当協会コーナー」、など19種類の催しを行いました。

②第18回北海道こども木工作品コンクール

応募参加作品21校183点で、9月18日から10月15日まで、「木と暮らしの情報館」に展示しました。

7 会員企業支援事業

「会員企業支援事業実施規定」（平成16年4月23日制定）に基づき、同事業を実施し、応募企業2社4件に対し助成を行いました。

II 平成22年度収支決算（単位：円）

収入の部		支出の部	
会費収入	3,157,500	事業費	13,319,625
公益事業収入	743,573	管理費	5,589,087
受託事業収入	14,526,750	財務調整資金繰入	550,000
雑収入	70,410	予備費	0
公益事業積立預金取崩	550,000	次期繰越金	4,491,467
前期繰越金	4,901,946		
計	23,950,179	計	23,950,179

平成23年度事業計画および予算

I 平成23年度事業計画

1 諸会議の開催

平成23年4月26日、平成23年度第1回理事会および第47回通常総会を開催します。

2 出版事業

機関誌「ウッディエイジ（木材の研究と普及）」を月刊で発行します。

3 講演会、講習会の開催

第47回通常総会時に記念講演（クラフト&デザイン タンノ主宰 丹野則雄氏による「考えること・作ること～アイデアをかたちにするために～」）を開催します。また、「木材接着講習会」を実施します。

4 受託事業

(1) 道総研林産試験場より「きのこ栽培試験管理業務」を受託します。

(2) 道総研林産試験場より「木と暮らしの情報館」に関わる「展示品維持管理業務」を受託します。

5 普及事業

(1) 木材関連産業活性化事業

① 安定的・効率的で地域性に根ざした素材生産・流通と地元の住宅建設・家具製造等への供給体制など地場産材の有効利用を図ることを目的とした上川地域水平連携協議会の中で、事務局として活動し、関連産業の活性化に努めます。

② 市民向けセミナー（子供を対象にした、林産試験場、木材関連工場等の見学会）などを実施し、木材料の普及・啓発に努めます。

(2) 「木材の持つ魅力・素晴らしさ」の普及・啓発に資するため、簡易な木製品や木工材料の提供に努めます。

(3) 「木のグランドフェア」などを道総合研林産試験場と共同で開催し、木材利用の普及・啓発に努めます。

6 各種講演会、研究会、大会等への後援および協賛

道総研林産試験場または各種団体が実施する事業で、当協会の趣旨に合致する事業に後援または協賛します。

7 会員企業支援事業

「会員企業支援事業実施規定」（平成16年4月23日制定）に基づき、同事業を実施し、助成を行います。

8 創立60周年記念事業

平成25年度で当会は創立60周年を迎えることから、記念事業に実施に向けて、今年度より準備事務を進めます。

II 平成23年度収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
会費収入	3,100,000	事業費	14,763,000
公益事業収入	680,000	管理費	5,781,000
受託事業収入	14,790,850	財務調整資金繰入	1,100,000
雑収入	129,150	次期繰越金	2,647,467
公益事業積立金収入	1,100,000		
前期繰越金	4,491,467		
計	24,291,467	計	24,291,467